



当面の新型コロナウイルス対応

コロナ禍の中、Go To トラベルなど社会経済活動の活性化のため様々な政策が実施されています。教育に関わる領域でも、感染症対策・学習保障等に係る支援事業が実施されています。それらを活用しながら感染症拡大防止に配慮し、以下のような教育活動を2学期に行います。

『遠足』

感染症予防対策のため、貸切バスの台数を増やします。増台分は国からの補助金で賄います。

遠足の目的地

1・2年生	六甲山カンツリーハウス(11/4)	雨天時は神戸海洋博物館 大型2台+小型1台
3・4年生	市内めぐり(11/4)	大型3台
5年生	枚方パーク(12/10)	大型1台+小型1台
6年生	太秦映画村(11/4)	大型1台+小型1台

『自然宿泊体験(5年)』

宿泊することや野外活動センター(銭原)に行くことはできませんが、他学年が遠足となっている11/4(水)に学校でミニキャンプをします。詳細は5年生の学年だよりをご覧ください。

『修学旅行(6年)』

宿泊することや広島での学習はできませんが、12/4(金)に、本来2日目に予定していた「姫路セントラルパーク」に行きます。帰校時刻は、5時頃になります。

詳細は、6年生の学年だよりでお知らせします。

『鍵盤ハーモニカ(1・2年)』

福井小では、唄口は個人持ちで楽器は共用しています。鍵盤ハーモニカを使うのは、3クラス(1-1、2-1、2-2)なので、クラスごとに期間を決めて学習を進めます。その期間に各児童が使用する鍵盤ハーモニカは固定します。学習期間が終われば、しばらく乾燥させた後、次のクラスが使用します。

SC(スクールカウンセラー)

SSW(スクールソーシャルワーカー)

による個人面談を行います。

すでにご承知のように、茨木市では学力体力向上のための施策「茨木っ子プラン ネット5.0」の一つとして、子どもたちや保護者のみなさんを支えることを目的に、SCとSSWを配置しています。本校では、SCとして中西純子さん、SSWとして鈴木寛子さんに担当していただいています。

昨年度も実施しましたが、思春期の入り口であり、自己を意識し個人的な悩み事や心配事、将来に向けた不安を感じ始めることもある5年生を対象にSCとSSWによる個人面談を10月下旬から実施します。

休み時間を使って5年生全員と一人ずつ面談をするので、一人当たりの時間は5分程度しかありません。その短い時間に深い内容の話はできないと思いますが、気軽にSCやSSWに相談するきっかけにしてもらうことが今回の全員面談の主となるねらいです。



厳密にいうとSC《悩みのある児童生徒へのカウンセリング(助言や援助が中心)》とSSW

《児童生徒が置かれた様々な環境の問題への働きかけ(関係機関との連携調整が中心)》の本来の職務には違いがありますが、学校現場では、SCとSSWが連携して、児童生徒や保護者に寄り添った対応を展開しています。

せっかく配置されているSCやSSWなので、児童や保護者のみなさんにSCやSSWを利用していただきたいのですが、まだまだ日常的な存在にはなっていないのが現状です。

今回は、5年生対象ですが、全学年の児童や保護者のみなさまに積極的に活用していただけることを望んでいます。

保護者のみなさまがSCやSSWに相談される場合は、事前に予約をお願いします。(担当 教頭 072-643-5173)